

「みどり戦略」を若い世代へアプローチ

みどりの食料システム戦略の目標年（2050年）に中核世代となる高校生や大学生を対象に出前授業を次々と実施。授業内容を進化させながら、生徒の主体的な活動も応援。

○ 施策分類

みどりの食料システム戦略

○ きっかけ・背景、課題の把握

「みどり戦略」は未だ国民各層に浸透していないことから、目標年（2050年）に中核世代になる高校生や大学生に対して出前授業等により、施策が目指す農林水産業や必要な対策などを周知し、施策実現のための土台づくりを行うことが必要と考えた。

○ 取組の内容

管内の大野農業高校、檜山北高校、清尚学院高校、北海道教育大学函館校で出前授業等を実施。各校の学科や学生の目指す進路等に添ったテーマを設定し、「みどり戦略」を身近なものとして関心を持ってもらえるよう、日常生活と環境負荷を関連付けしたクイズを冒頭に実施するなど工夫した。

授業実施後のアンケートの結果を踏まえ、次回以降、より効果的な授業が行えるよう説明資料のバージョンアップを行った。

○ 効果・成果、今後の方向性

出前授業を行った当初は、内容が難しいためわかりやすい説明を望む意見多かったが、最新のアンケートでは、約8割以上の生徒から理解できたとの回答を得ることができた。

また、一部の学校からは、生徒が主体となって行う「みどり戦略」の次年度の取組発表会へ拠点職員が参加を求められた。さらには、「みどり戦略学生チャレンジ」への全校的な取組につながった。

今後は「みどり戦略」実現に向け、積極的に出前授業を行うとともに、「みどり戦略学生チャレンジ」への参加を促す。



講演の様子（大野農業高校）

グループディスカッションの様子（檜山北高校）

体制図

